

## がん教育・啓発活動として絵本を発刊

- がん診療拠点病院、地域医師会、行政との協同事業
- 北河内地区の小学校や公共施設への無料配布を予定
- がん専門医、認定看護師が監修。(府が進めるがん教育の目的とも合致)
- 大阪府地域連携強化事業補助金を活用したプロジェクト

北河内がん診療ネットワーク協議会（大阪府枚方市 協議会会長・関西医科大学呼吸器腫瘍内科学講座教授 倉田宝保 以下「協議会」）は、がん教育・がんの啓発活動を目的とした絵本「笑顔のチケット」（絵：すずきたかはる氏）を発刊しました。

コロナ禍においてがん検診の受診率は北河内医療圏でも停滞しています。大規模なイベント実施が難しくがんの啓発活動が思うように進められていません。そうした現状を打破するため、協議会では絵本プロジェクトを開始しました。

同プロジェクトは令和3年度大阪府地域連携強化事業補助金に採択され、協議会に所属するがん診療拠点病院のがん専門医とがん看護専門看護師が監修。がんに関する基礎知識と、早期発見の大切さを織り込んだストーリーで構成されています。

この絵本は北河内地区の小学校や公共施設への無料配布を予定しており、小児世代へのがん知識の啓発教材としての役割が期待されます。これは、大阪府が小学校・中学校・高等学校において実施するがんの予防に向けた学習活動（がん教育）の目的【生徒ががんについての正しい知識とがん患者等に対する理解を深めること】にも合致すると考えています。また、それ以外にも絵本を読んだお子様からそのご家族へがん検診の受診を訴えていただくことで、自らの意思でがん検診を受診する可能性が低い方に対して、受診のきっかけとなり、早期発見につなげる役割も期待されます。多くの方に目にしていただけるよう印刷物だけでなく WEB 上から PDF でのダウンロードも可能となっており、タブレットにて授業やご家庭でも閲覧できます。

協議会では、今後も緩和ケアやがん治療などのテーマで絵本プロジェクトを継続する予定で、北河内医療圏におけるがん診療連携体制の強化とがん医療水準の向上を目的に、より一層のがん啓発活動を進めて参ります。



「笑顔のチケット」表紙



ダウンロード用  
QR コード

【本件リリースに関する取材についてのお問合せ】

## 別添資料

### 《北河内がん診療ネットワーク協議会》

北河内医療圏域に属する地域がん診療連携拠点病院、大阪府がん診療拠点病院、各市医師会などによって構成され、北河内二次医療圏におけるがん診療連携体制の強化とがん医療水準の向上を目的に合同で協議を行っています。がん相談支援部会・がん登録部会・がん広報部会・がん緩和ケア部会の4部会が設置されています。

#### 協議事項

- (1) 地域におけるがん診療連携体制等がん医療にかかる情報交換に関すること
- (2) 地域がん医療におけるがん診療ネットワーク構築の支援に関すること
- (3) その他、大阪府がん対策推進計画の促進に関すること



### 《イラストレーター：すずき たかはる》



1978年生まれ。神奈川県横浜市出身、長野県佐久市在住。

大学在学中にアニメーション専門学校を卒業。

アニメ制作会社での制作担当、一般企業での営業職、IT職を経て、「世の中の親子が笑顔でいることに貢献したい」という想いを胸に、2020年にイラストレーターとして独立。

子ども、親子、地方をモチーフにした、やさしくてあたたかい絵を得意とし、企業や地方自治体のイラストなどを手がける。子育てに没頭する日々の暮らしが、創作活動のエネルギー。

ホームページ <https://suzukitakaharu.com>

### 【本件リリースに関する取材についてのお問合せ】